



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社 ナック

上場取引所 東

コード番号 9788 URL <http://www.nacoo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺岡 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室 室長

(氏名) 小林 貴之

TEL 03-3346-2111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	50,710	16.1	2,319	24.0	2,324	26.7	1,012	11.1
24年3月期第3四半期	43,685	11.7	1,871	30.0	1,835	29.1	911	△7.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,015百万円 (13.9%) 24年3月期第3四半期 891百万円 (△7.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	122.85	—
24年3月期第3四半期	116.42	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	28,940	12,123	41.9
24年3月期	25,817	11,489	44.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,123百万円 24年3月期 11,489百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	27.00	52.00
25年3月期	—	30.00	—		
25年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	13.5	4,400	26.6	4,350	25.9	2,100	23.5	255.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	9,359,625 株	24年3月期	9,359,625 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,095,147 株	24年3月期	1,144,101 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	8,242,974 株	24年3月期3Q	7,828,534 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8
4. 補足情報 .....	9
受注の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）における日本企業の経営環境は、震災以降の円高、電力不足に加え、政治の混迷とともに領土や主権にかかわる外交機軸が揺らぎ、国内外、特に隣国との関係に不安を抱えました。しかしながら、米国、中国、韓国とともに、わが国においても新たな政権による国家運営がスタートし、経済、外交、復興において進展が期待されます。

また、これまで大幅に削減されてきた公共投資も、東日本大震災以降の防災や、高度成長期のインフラ老朽化対策によってその見直しが見込まれ、景気対策による先行き期待感から円安、株高に向かうなどの明るい兆しも見え始めました。このような状況のもと、当社グループでは、クリクラ事業における販売促進、住宅事業における新規出店の寄与、レンタル事業におけるM&A効果等が相まって、全セグメントで前年売り上げを上回り、順調に推移しました。その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高50,710百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益2,319百万円（同24.0%増）、経常利益2,324百万円（同26.7%増）、四半期純利益1,012百万円（同11.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

なお、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用等790百万円があります。

#### <クリクラ事業>

事業全体の製品水製造本数は、当期の累計で1,292万本となり、前年同期比13.8%増と2ケタの伸長を継続しております。特に加盟店向け製品水出荷に関しては、加盟店数の増加とともに、前年比23.6%の伸びとなっております。直営部門では、事業の成長により人員不足を招いておりましたが、改善に向かっております。

以上の結果、売上高10,152百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益353百万円（同0.5%減）となりました。

また、当期の新規加盟店契約は92社、トータルの加盟店数は550社と順調に増加しており、今後も積極的、継続的販売促進を図ってまいります。

#### <レンタル事業>

レンタル事業では、当四半期においても安定した売上、利益を計上し、順調に推移しました。清掃関連事業が好調に推移し、ハウスクリーニング部門で、年末大掃除シーズンの需要を取り込み、売上、利益ともに前年を大きく上回りました。ビルメンテナンス事業を行う子会社、株式会社アーネストにおける新サービス「概算見積特急便」も好評を得て、売上に寄与しております。

以上の結果、売上高9,085百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益1,239百万円（同4.9%増）となりました。

#### <建築コンサルティング事業>

主力ノウハウ商品販売では、フォローアップ研修などの会員バックアップ体制が、他商品のクロスセールのにも寄与しました。

建築部資材販売における太陽光発電システムの販売では、一般戸建市場の伸びを鑑み、ビルダーに対する営業にも注力するなど、販売チャネルの構築に努めました。その結果、ほぼ計画通りの売上推移となりましたが、引き続き人員を投入し販売促進を継続しており、また「全量買取制度」による急激な市場拡大の一方、低価格化も著しく、収益面での貢献には至っておりません。

以上により、売上高3,086百万円（前年同期比40.2%増）、営業利益291百万円（同23.9%減）となりました。

#### <住宅事業>

新築の住宅着工戸数が3年連続でプラスになるなど、事業環境は緩やかな追い風となりました。そのような中、新規出店効果や都市部の店舗における販売単価の上昇などが後押しし、売上高は28,390百万円（前年同期比20.4%増）となりました。損益面でも、売上増に伴い、営業利益1,226百万円（同75.6%増）と大幅に伸長しました。受注状況につきましては、消費税増税にともなう住宅ローン減税等、優遇措置が不確定なため市場の動きは鈍く、当第3四半期連結会計期間末における受注残が1,393棟（前年同期1,358棟）となっております。

当四半期において、大宮展示場・千葉展示場・厚木展示場・福山展示場の開設を行いました。これにより店舗数は、44支店29展示場となりました。引続き外部環境を注視し、更なる販売促進に取り組んでまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、28,940百万円となり、現預金の増加、住宅事業における未成工事支出金等が増加し、前連結会計年度末に比べ3,123百万円増加しました。

負債総額は、16,816百万円となり、主として、住宅事業における未成工事受入金の増加により前連結会計年度末に比べ2,488百万円増加しました。

純資産は、12,123百万円となり、四半期純利益1,012百万円計上等により利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ634百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、ほぼ期初計画の範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,904,150	6,239,075
受取手形及び売掛金	3,048,936	2,582,757
商品及び製品	1,822,371	1,459,686
未成工事支出金	1,252,081	3,320,649
原材料及び貯蔵品	61,278	74,736
その他	2,023,761	2,592,355
貸倒引当金	△158,132	△123,768
流動資産合計	13,954,448	16,145,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,812,358	5,109,889
土地	2,319,873	2,366,723
その他(純額)	880,063	1,090,090
有形固定資産合計	8,012,295	8,566,703
無形固定資産		
のれん	471,129	407,919
その他	170,436	318,801
無形固定資産合計	641,566	726,721
投資その他の資産		
差入保証金	2,267,384	2,282,598
その他	1,219,863	1,665,441
貸倒引当金	△278,037	△446,405
投資その他の資産合計	3,209,210	3,501,634
固定資産合計	11,863,071	12,795,059
資産合計	25,817,519	28,940,553

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,789,391	3,908,793
短期借入金	1,159,105	805,324
未払法人税等	1,036,117	49,486
未成工事受入金	2,909,377	6,644,818
賞与引当金	732,120	351,151
引当金	268,863	342,843
その他	2,905,180	2,744,940
流動負債合計	12,800,155	14,847,357
固定負債		
長期借入金	497,450	628,945
資産除去債務	529,600	622,077
その他	501,293	718,361
固定負債合計	1,528,344	1,969,383
負債合計	14,328,500	16,816,741
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	867,170	897,781
利益剰余金	8,976,596	9,516,481
自己株式	△1,519,717	△1,458,288
株主資本合計	12,324,049	12,955,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,081	30,452
繰延ヘッジ損益	1,207	3,702
土地再評価差額金	△866,318	△866,318
その他の包括利益累計額合計	△835,029	△832,163
純資産合計	11,489,019	12,123,811
負債純資産合計	25,817,519	28,940,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	43,685,016	50,710,816
売上原価	26,532,233	31,393,179
売上総利益	17,152,782	19,317,636
販売費及び一般管理費	15,281,774	16,997,982
営業利益	1,871,008	2,319,653
営業外収益		
受取利息	10,729	11,812
受取配当金	12,389	14,215
受取地代家賃	9,397	4,428
受取手数料	12,916	10,180
その他	29,833	36,761
営業外収益合計	75,267	77,396
営業外費用		
支払利息	33,851	27,408
減価償却費	10,627	9
為替差損	46,248	24,247
その他	20,476	21,183
営業外費用合計	111,203	72,850
経常利益	1,835,071	2,324,200
特別利益		
固定資産売却益	8,555	—
投資有価証券売却益	—	36,473
特別利益合計	8,555	36,473
特別損失		
固定資産処分損	2,884	8,190
減損損失	87,339	—
創業者功労金	—	500,000
特別損失合計	90,224	508,190
税金等調整前四半期純利益	1,753,402	1,852,483
法人税、住民税及び事業税	418,948	651,091
法人税等調整額	423,028	188,714
法人税等合計	841,976	839,806
少数株主損益調整前四半期純利益	911,426	1,012,677
四半期純利益	911,426	1,012,677



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	911,426	1,012,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,957	371
土地再評価差額金	2,087	—
繰延ヘッジ損益	△2,939	2,495
その他の包括利益合計	△19,808	2,866
四半期包括利益	891,617	1,015,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	891,617	1,015,544
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリックラ事業	レンタル事業	建築コンサル テイング事業	住宅事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,714,790	8,189,949	2,202,308	23,577,968	43,685,016	—	43,685,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	219	461	—	—	680	△680	—
計	9,715,009	8,190,410	2,202,308	23,577,968	43,685,697	△680	43,685,016
セグメント利益	354,846	1,181,891	382,660	698,455	2,617,853	△746,845	1,871,008

(注) 1. セグメント利益の調整額△746,845千円には、セグメント間取引消去・その他調整額76,945千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△823,790千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリックラ事業	レンタル事業	建築コンサル テイング事業	住宅事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,152,120	9,081,659	3,086,878	28,390,157	50,710,816	—	50,710,816
セグメント間の内部 売上高又は振替高	215	3,529	—	—	3,745	△3,745	—
計	10,152,336	9,085,189	3,086,878	28,390,157	50,714,561	△3,745	50,710,816
セグメント利益	353,038	1,239,275	291,232	1,226,443	3,109,989	△790,335	2,319,653

(注) 1. セグメント利益の調整額△790,335千円には、セグメント間取引消去・その他調整額92,238千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△882,574千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 重要な後発事象

当社は、平成25年2月8日開催の取締役会において、株式分割および定款一部変更について決議いたしました。詳細につきましては、平成25年2月8日に公表しております「株式分割および定款一部変更に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 4. 補足情報

受注の状況

セグメントの名称	受注高 (千円)		受注残高 (千円)	
	前第3四半期 平成23年4月1日～ 平成23年12月31日	当第3四半期 平成24年4月1日～ 平成24年12月31日	前第3四半期 平成23年12月31日現在	当第3四半期 平成24年12月31日現在
住宅事業	32,136,807	31,832,677	22,534,750	23,779,654